

漢文句法「反語」確認テスト（豈・何・安・寧） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾

解答・解説

問1 あに／「豈（あ）に～や」で「どうして～か、いや～ない」という反語を表す。

問2 どうして悲しくないだろうか、いや、まことに悲しいことだ。

問3 あへて／「敢（あ）へて～んや」で「進んで～しようか、いや～しない」という反語を表す。

問4 どうして命令に従わないことがあろうか、いや、きつと従う（＝必ず命令に従います）。「敢へて～ざらんや」は打ち消しを二重にふくむため、結局は「必ず～する」という強い肯定の意味になる。

問5 なんぞ／「何（なん）ぞ～ん」で「どうして～か、いや～ない」という反語を表す。

問6 いづくんぞ／「安（いづ）くんぞ～んや」で「どうして～か、いや～ない」という反語を表す。場所を問う「いづくにか（どこに）」とは読みが異なる点に注意。

問7 どうして魚の楽しみがわかろうか、いや、わかりはしない。

問8 なんぞ／「寧（なん）ぞ～んや」で「どうして～か、いや～ない」という反語を表す。

問9 たれか／「誰（たれ）か～ん」で「誰が～か、いや誰も～ない」という反語を表す。

問10 誰が過ちを犯さずにいられようか、いや、誰も過ちを犯さずにはいられない（＝人は誰でも過ちを犯すものだ）。

問11 王や諸侯、将軍や大臣に、どうして（生まれつきの）血筋などあろうか、いや、ありはしない。

問12 燕や雀のような小さな鳥に、どうして鴻（おおとり）や鶴（くぐい）のような大きな鳥の志がわかろうか、いや、わかりはしない。

問13 「～んや」「～ん」（ともに推量・意志の助動詞「む（ん）」を用いて結ぶ形）。文末が「ンや」「ン」となっていれば反語と判断できる。

問14 (1) 反語（書き下しの末尾が「惜しまん」で、「どうして一頭の馬を惜しもうか、いや惜しまない」の意）。(2) 疑問（書き下しの末尾が「為さざる」で、「あなたはどのようにして政治を行わないのか」と理由を問うている）。

問15 (1) 反語（末尾が「有らんや」。「どうして他にあろうか、いや、ありはしない」の意）。(2) 疑問（末尾が「在る」。「あなたはどこにいるのか」と所在を問うている）。

問16 例文⑩「子何不為政。」は「なぜ政治を行わないのか」と理由をたずねる疑問であるのに対し、例文③「何惜一馬。」は「どうして一頭の馬を惜しもうか、いや惜しまない」と強く打ち消す反語である。同じ「何ぞ」でも、文末が「～ん」で結ばれているかどうかで疑問・反語を見分ける。

問17 豈（あ）に悲しからずや。

問18 誰（たれ）か能（よ）く過（あやま）ち無からん。

問19 安（いづ）くんぞ魚（うを）の楽しみを知らんや。

問20 王侯将相（わうこうしやうしやう）寧（なん）ぞ種（しゆ）有らんや。

問21 （例）強い断定や深い感情が表され、ふつうに述べるより主張が際立つ。（反語は読み手に「いや、そうではない」と気づかせ、説得力や感情の高まりを生む。）

問22 推量・意志を表す助動詞。「～だろう」「～しよう」の意で、反語ではこれを疑問の語と組み合わせて「～しようか（いや、しない）」という打ち消しの含みを生む。